

平成30年度第72回栃木県芸術祭美術展審査結果（日本画部門）

- 応募総数 46点 [57点]
○入賞点数 9点 [9点]
○入選点数 34点 [39点] * []内は昨年度

（審査寸評）

新しい感性と造形性が今年には特に見られ、若い息吹きが感じられた。

芸術祭賞「夏陰」

日本画に対する時代の流れを感じさせる造形性に優れた作品であり、若い感性が凝縮された作品である。

準芸術祭賞「陰日向」

土壁から垂れた烏瓜の赤い実が冬の日射しに柔らかく溶け込んだ作品であり、色彩の調和と相まって心温まる作品である。

準芸術祭賞「前進」

時代の流れに乗った動植画のひとつであるが、象のもつ優しい雰囲気と色彩の温かさが見事に相まった作品である。

U25賞「カフェ」

精密な描写力と遠近感を見事に採り入れた作品であり、若い時代を感じさせる作品である。

〔入賞者名〕

○芸術祭賞

伊^い藤^{とう}寛^{ひろ}人^と（※）（東京都台東区） 「夏陰」^{なつかげ}

○準芸術祭賞

遠^{えん}藤^{とう}沙^さ織^{おり}（足利市） 「陰日向」^{かげひなた}

平^{ひら}塚^{つか}和^{かず}子^こ（那須塩原市） 「前進」^{ぜんしん}

○芸術祭奨励賞

水^{みず}野^の澄^{すみ}子^こ（那須塩原市） 「味爽」^{まいそう}

小^こ林^{ばやし}駿^{しゅん}（※）（大田原市） 「竹橋駅15：09発」^{たけはしえき はつ}

亀^{かめ}山^{やま}明^{あき}代^よ（真岡市） 「栄華の輪廻」^{えいが りんね}

角^{つの}田^だ裕^ゆ雅^{かり}理^り（小山市） 「瞬風」^{しゅんぷう}

荒^{あら}川^{かわ}よしゑ（真岡市） 「明けゆく」^あ

○U25賞

齋^{さい}藤^{とう}晶^{あきら}（※）（東京都国分寺市） 「カフェ」 （※）は25歳以下

平成30年度第72回栃木県芸術祭美術展審査結果（写真部門）

- 応募総数 289点 [319点]
○入賞点数 13点 [13点]
○入選点数 167点 [152点] * []内は昨年度

（審査寸評）

今回は割と身近なものを捉えた作品が多かったようだ。お祭りや美しい栃木の自然、人々の営みや日常の生活。そんな中、どのような基準で選考したかを述べたい。

地震が各地を襲い台風が爪痕を残す。自然災害が多くの人に困難な生活を余儀なくさせている。一方、世界を見渡せば、国家間の貿易摩擦が深刻化し、人種間における人権の問題が取り沙汰されるようになった。そんな平成30年度に写真は、そして芸術はいったい何の役割をもたらせばいいのだろうか。もちろん、平和や人々の幸せを願えることが大きな役割であると思う。今回、美術展では微力ながらそんな願いを込めて選択させていただいた。選ばれた写真はそんなメッセージを携えて、多くの方に届けばいいと心から願っている。

芸術祭賞「首長族の女」

シンプルな光だが、ライティングの基本をしっかりとおさえ、顔や衣装の細かな描写は見るものに強いインパクトを与える。首長族を写した写真は、民族の尊厳をよく表している。人にとって多様性の大事さ、そして違いを認め尊敬し合うことの大事さを教えてくれている。

準芸術祭賞「炎の舞」

狙っていても簡単に撮れない一瞬だろう。前景に炎と煙、そしてメインの人物。背景にも炎と煙。そんな望遠レンズの引っ張り効果を上手に使い力強いショットを作り上げている。時が流れ未来の人はこの写真をどう思うだろう。花火の炎に多くの願いが込められていることを思い出してくれるだろうか。

準芸術祭賞「おとまり会」

なんとも微笑ましいショットだ。靴の写真だが、子供たちの声が聞こえてくる様だ。そうした中、左上の靴だけ逆向きに脱ぎ捨てられている。この靴だけが大人の靴で、ちょっと行儀の悪さが面白い。見るものに、いくつもの物語を感じさせてくれる。そんな優しい一枚である。

〔入賞者名〕

○芸術祭賞

さいとう まさる
齋藤 勝

（日光市）

くびながぞく おんな
「首長族の女」

○準芸術祭賞

はせがわ えいいち
長谷川 瑛一

（小山市）

ほのお まい
「炎の舞」

うえむら ゆりこ
上村 百合子

（宇都宮市）

「おとまり会」

○芸術祭奨励賞

ねく い あき お
涌 井 明 男

(茂木町)

とき
「時をかける」

え がわ た か
江 川 多 嘉

(宇都宮市)

まつり わかしゅう
「祭りの若衆」

なか じま つぎ お
中 嶋 次 男

(小山市)

「フィナーレ」

すず き まさ み
鈴 木 正 美

(栃木市)

きゅうそくちゅう
「休息中」

やま ぎき あきら
山 崎 晃

(小山市)

いぼしよ
「ボスの居場所」

なか の いち ろう
中 野 一 郎

(栃木市)

ぐん しょう
「群 翔」

もり しま たかし
森 嶋 隆

(小山市)

とかい わた
「都会を渡る」

ふる や こう いち
古 谷 倅 一

(芳賀町)

けいこく ぞうけい
「溪谷の造形」

あお の やす ひろ
青 野 康 廣

(宇都宮市)

がんしょう なが い あま がわ
「岩礁に流れ入る天の川」

川 田 みどり

(宇都宮市)

けつ かい
「結 界」

○U25賞

該当なし